



月刊

2015

8
月号

みんぱく

特集

テーマパーク



せめぎあう街とテーマパーク 川口幸也

アメリカ型テーマパークのグローバル展開 能登路雅子

〈ジュラシック・パーク〉と動物園文化 溝井裕一

インドのテーマパーク 小牧幸代

鉱山跡の産業テーマパーク 田所聖志

鬼の博物館とその背景 菅瀬晶子

まさかかさかさま

わたしいまめまいしたわ。まさかかさかさま。か
んせまみてし探を運幸の然偶でみ読まさ逆もた
なあ。るあもところすブンヤジとヘアデアアな外
意で想発の転逆、がだ音本がのういと「むかつ
もを藁(わら)はのもるれ溺」。るあがところけかを待
期とかのいなえ会出に運幸の然偶てしをみ読ま
さ逆で分半び遊、どなたたつ困にアデアア、は
僕。るなど「ぶ学をるき生」は生学。「ぶ学をい
問」は問学、とむ読らかまさ逆を字漢にうよの
文漢てえ変を点視。く聞も話ういとく効に防予
化老の脳、りなにグンニレトるえ鍛を能機憶記
の葉頭前いすやえ衰とるとを年、はとこむ読に
さ逆てし出に声を前名のノモなんろい、たま。る
あが前名のみ読まさ逆のんさくたもに中のしら
暮、とりたつだみ読まさ逆の(邪風) E Z A Kが
『(クツザエ) K A Z E』の葉ぜか、てしそ。「ぞ
ると1 G」とるすみ読まさ逆を前名の馬ういと
『ジワントルン』の馬競。説ういと「レオ十
どさんこ」たせわ組み組をレオつもを響の語
ンテラ、し返りくつひを(こんさど)子産道が来
由の前名の『幌札レドサンコ』グーリー、もに
他。るあが説ういとたつなになうういと「づつか
をんげ」をとこるすに気を起縁、りなと「んげ」

か日のついが「んえぎ」のを、でうそたいでん読
と「んえぎ」縁起」てしみ読まさ逆を「ぎん
え」起縁 代時戸江。るあが習風るすみ読まさ
逆を語単てめ込を味意の語隠らか昔のそはで本
日。かうろだいなが験経なんそまたなあ。だの
もたれさ掬(く)と「しけたきみのみきたけし」く
よ。うましてつなと「みきたけし」とむ読にまさ
逆、は(しけたきみ)健木三、名本の僕にみなち。
るあで文回の字マローはA K A S A K Aの名地、
字漢は清家清の家築建。たつあも前名の文回り
ばず、ういと「こいけけいこ」子恵池小、りだん
読と「(かなたのたなか) 中田の方彼」を中田や
「(ぼくのくぼ) 保久の僕」を保久、はに中。た
いでん読で語隠に合具たついと「やまもとかおる」
を薫本山、「さとうまなぶ」を学藤佐。行流がの
む読らかまさ逆を前名の達友、頃の生学小。か
うろだ頃ついのはたつ知を文回のどな「たけやぶ
やけた」や「しんぶんし」や「トマト」。たみて
い書でみ読まさ逆たし行流に頃のものと子、で「ま
さかさかさま」は章文のこ。るあで文回いならわ
変も番順の節音しいな字文、ずらわ変が味意も
でん読らかる後もでん読らか前、はれこ。わた
しいまめまいしたわ

三木 健

プロフィール
神戸生まれ。デザイナー。1982年
三木健デザイン事務所設立。話すよう
にデザインを進める「話すデザイン」と
モノやコトの根源を探る「聞くデザイン」
で物語性のあるデザインを展開。「気づ
きに気づく」をテーマに静かな表現の
中にエモーショナルなコミュニケーション
を潜ませる。近年、学びをデザイン
するプロジェクト「APPLE」が国際
出版。国内外での受賞・講演多数。大阪
芸術大学教授。

月刊
みんぱく
8月号目次

1 エッセイ 千字文
まさかかさかさま
三木 健

特集 テーマパーク

- 2 せめぎあう街とテーマパーク
川口 幸也
- 4 アメリカ型テーマパークのグローバル展開
能登路 雅子
- 6 〈ジュラシック・パーク〉と動物園文化
溝井 裕一
- 7 インドのテーマパーク
小牧 幸代
- 8 鉱山跡の産業テーマパーク
田所 聖志
- 9 鬼の博物館とその背景
菅瀬 晶子

10 集めてみました世界の○○

- うちわ編
印東 道子
- 12 みんぱく Information
- 14 味の根っこ
口・クリオ
窪田 暁
- 16 文化遺産おもてうら
危機言語を救わない
吉岡 乾
- 18 音の居場所
シンガポールにインド芸能を広めた男
竹村 嘉晃
- 20 人間学のキーワード
社会関係資本
稲葉 陽二
- 21 次号予告・編集後記

テーマパーク

人びとをかりそめの世界へと
いざなうテーマパーク。
そこに映し出されるのは、夢か幻か、はたまた現実か。



大阪、道頓堀川の戒橋そばに設置されているネオン看板

が寝泊まりしている。同じことは、東京ディズニーリゾートにも当てはまる。壁と音楽、そして海で外界から仕切られたそこには、ホテルがあつて多くの宿泊客がいるのである。宿泊客とはいえ、二六時中人がいるとなれば、これらはもうテーマパークというより街に近い。ほかにもスペインの街を再現した三重県のスペイン村、また千葉県にある花と緑を売り物にする東京ドイツ村と、テーマパークと一言でいっても多彩である。

こうしてみると、現実の街並みとテーマパークはたがいに限りなく歩み寄っているように見える。ただ、歴史的には、戦後、観光需要の高

せめぎあう 街とテーマパーク

川口幸也 立教大学教授

街への戸惑い

毒々しいまでのネオンと酔客を誘う怪しげな声が交錯する街、ミナミ。ご存知、大阪の名所である。だが、あれはいつたい街なのか、それともテーマパークなのか。

ミナミだけではない、このごろ、内外の多くの都市でそんな戸惑いを覚える。横浜やロンドンの中華街、あるいは新宿歌舞伎町に「ゴールデン街」、はたまた浪花の下町、天満に十三、さらにはバリ、ヴェネツィア……。これらは街なのか、テーマパークなのか。実際に足を踏み入れてみれば、中華街には周囲と区別するために四方に門があるし、歌舞伎町やゴールデン街にも入口の門がある。また天満や十三には明確な標識はないが、それでも周辺とは違う空間だというのが一見してわかるしくみになっている。歌舞伎町やゴールデン街はあえていえば酒とエロスの、そして中華街や天満、十三はさしずめ食文化に主眼を置いたテーマパークだということができるだろう。パリとヴェネツィアに至つ



横浜のみなとみらい地区

まりを受けてアメリカやヨーロッパ、日本などにテーマパークが登場し、それらのなかには実際の都市や街並みをモデルにしたものもあった。他方、街の方でも、観光資源としての価値を高めようと、テーマパークの要素を意識的にとり込んだのであろう。

虚構は現実を映す

壁やその他で周囲とは区別されていること、また、原則としてレジャーや飲食、買い物を中心とする消費に特化した空間であること、行き交う人の大部分が匿名の存在であることなど、たしかに街とテーマパークにはいくつか共通点が



長崎県佐世保市 ハウステンポス アムステルダム広場 (写真提供・ハウステンポス)

ては、丸ごと歴史と文化の総合テーマパークの観を呈している。

近年の新しい造成地も負けていない。例えば、横浜のみなとみらい地区を歩くと、突然目の前に帆船日本丸があらわれ、その隣にはアニメ風の店が軒を並べ、さらに向こう側には大観覧車がゆっくり回っている。この生活臭のなさ、これはどう見ても街ではなくテーマパークだ。

肉薄する両者

では、テーマパークの方はどうだろう。オランダの街並みをそっくり再現したというハウステンポスは、オランダ人が驚くほど精妙に造られていて、しかも敷地内のホテルには実際に人

ある。けれども、両者には決定的な違いがある。それは、テーマパークが、あらかじめ用意された架空のテーマに基づいて構成されているのに対し、現実の街はそうではないからだ。そのかわり、街には歴史がある。テーマと歴史は、ともに物語という一面があるという点では似ている。だが、歴史はテーマと違って、外から与えられる既成の物語ではなく、住人たちが自らかたづけていくものである。もうひとつ、テーマは複製可能だが、歴史にはこれができない。だからこそ、ディズニーランドは本家カリフォルニアだけではなくフロリダや東京、パリにも造ることができ、東京もロンドンも、ゴールデン街も十三も、都市や街はその土地に根ざした固有の存在なのである。

このように書くと、テーマパークは所詮つくり物に過ぎないという結論に落ち着きがちだ。しかし、テーマパークの隠れた価値のひとつは、まさにこの点にあるのではないだろうか。つくり物は、虚構であることを前提にしながら現実肉薄することで、ある種の批評性を獲得している。似顔絵を思い出せば話は早い。テーマパークにもまた、現実の街を忠実になぞること、反対に現実の街を戯画化し、相対化するという効能がある。

テーマパークが完全に街になることも、その逆もありえない。だとしたら、街もテーマパークもその原点に立ち戻る必要がある。街は、手立てを尽くして、足元の歴史を意志的にかたつけていくべきなのだ。テーマパークは多分そんなことを、わたしたちに教えてくれているのかもしれない。

アメリカ型 テーマパークの グローバル展開 のとし 能登路 雅子 東京大学名誉教授



海外進出の背景

第二次大戦後のファミリーレジャー隆盛のなかで、アメリカではホテル業、鉄道会社、ビール製造業、映画会社などによる遊園地建設ラッシュがつついた。そのなかで、一九五五年にロサンゼルス郊外に忽然と姿をあらわしたディズニールランドは、「冒険」「開拓」「お伽」「未来」の四つのテーマのもとで時空を超える疑似体験を演出する新機軸をうち出して、テーマパークの時代を切り拓いた。

ユニバーサル・スタジオも映画を素材として一九六四年にハリウッドに娯楽施設をオープンし、撮影の舞台裏を見せるツアーが人気を集めた。一方でスリル系のライドを売り物とするシックス・フラッグスなども各地に登場し、西部のゴーストタウン、アフリカのサファリといったテーマ区域と並んで絶叫マシンを多数配置した。

しかし、アメリカの国内市場は七〇年代にはアトラクションの内容のわかりやすさも、世界中の人びとがハリウッド映画を通じて、すでに充分なりテラシーを獲得しているという素地による。相当の出費は覚悟しても、それほどの苦労もなく、家族連れで一日を安全・快適に楽しめる場所というのは、案外少ない。

それゆえ、アメリカ型テーマパークの圧倒的な集客力は世界の人びとの旅行のパターンや文化的欲求を変えつつある。ディズニールランド・パリを訪れる人はルーブル美術館やエッフェル塔の見学者より多く、香港ディズニールランドは西安の兵馬俑坑より、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは大阪城よりもはるかに多くの人びと

2013年 世界のテーマパーク年間入場者数上位30 (※はアメリカ資本・ライセンス契約による)

1	マジックキングダム(ディズニー:米・オランダ) *	18,588,000
2	東京ディズニーランド(日本) *	17,214,000
3	ディズニールランド(米・アナハイム) *	16,202,000
4	東京ディズニーシー(日本) *	14,084,000
5	エプコット(ディズニー:米・オランダ) *	11,229,000
6	ディズニールランド・パーク(フランス) *	10,430,000
7	ディズニー・アニマルキングダム(米・オランダ) *	10,198,000
8	ディズニー・ハリウッド・スタジオ(米・オランダ) *	10,110,000
9	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(日本) *	10,100,000
10	ディズニー・カリフォルニア・アドベンチャー(米・アナハイム) *	8,514,000
11	アイランド・オブ・アドベンチャー(ユニバーサル:米・オランダ) *	8,141,000
12	オーシャン・パーク(香港)	7,475,000
13	香港ディズニールランド(香港) *	7,400,000
14	ロッテワールド(韓国)	7,400,000
15	エバーランド(韓国)	7,303,000
16	ユニバーサル・スタジオ・フロリダ(米・オランダ) *	7,062,000
17	ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド(米・ハリウッド) *	6,148,000
18	ナガシマスパランド(日本)	5,840,000
19	シーワールド・フロリダ(米・オランダ) *	5,090,000
20	ヨーロッパ・パーク(ドイツ)	4,900,000
21	ウォルト・ディズニー・スタジオ(フランス) *	4,470,000
22	シーワールド(米・サンディエゴ) *	4,311,000
23	チボリ・ガーデンズ(コペンハーゲン)	4,200,000
24	エフテリング(オランダ)	4,150,000
25	横浜・八景島シーパラダイス(日本)	4,149,000
26	杭州宋城(中国)	4,100,000
27	ブッシュガーデンズ・タンパベイ(米・タンパ) *	4,087,000
28	深圳東部華僑城(OCT East)(中国)	3,950,000
29	ナッツ・ベリー・ファーム(米・ブエナパーク) *	3,683,000
30	ユニバーサル・スタジオ・シンガポール(シンガポール) *	3,650,000

*TEA/AECOM 2013 Global Attractions Report"より

建設費高騰や集客競争によって飽和状態となり、海外進出に活路が求められた。一九八三年の東京ディズニールランド(TDL)開園の背景には、日本国内のレジャー需要やディズニールランド人気というプル要因とともに、アメリカからの市場開拓というプッシュ要因も大いに影響していたのである。その後、ディズニールランドはパリと香港に進出し、二〇一六年には上海にも開園が予定されている。ユニバーサルも大阪・シンガポールにオープンし、シックス・フラッグスはメキシコやベルギー、オランダに既存の遊園地を買収するという形で進出している。

2014年、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにオープンしたエリア「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリウッド」のホグワーツ城。撮影・山中由里子



TM & © Warner Bros. Entertainment Inc. Harry Potter Publishing Rights © JKR. (s15)

ハリウッド映画の演出力

二〇一三年の世界のテーマパーク年間入場者数上位三〇を見ると、ディズニール系が二(うちアメリカ国外が五)、ユニバーサル系が五(アメリカ国外が二)と、この二社の寡占状態が明らかだ。さらに、それぞれの総集客数に占める国外施設の割合を見ると、ディズニールが四二パーセント、ユニバーサルが三九パーセントで、いずれも海外市場の貢献度の高さが見てとれる。この二大組織がいずれも映画製作から出発しているという事実は偶然ではない。アメリカ製テーマパークの魅力のひとつは、物語の徹底的な演出である。それは、これまで映画という二次元のスクリーンで人びとが経験した過去・未来へのタイムスリップを現実の三次元空間で主人公となって味わえる文化装置なのである。

を惹きつけている。

アメリカ的世界のローカル化

一方、これらのテーマパークのローカルな変容という側面も重要だろう。筆者はTDL開園のころ、日本の民話や歴史をディズニール的に演出したらどうなるかと考えたことがあった。たとえば、「白雪姫」ではなく「雪女」の物語を描いたアトラクション、「カリブの海賊」ではなく「大江山の山賊」といった具合に。しかし、アメリカの完全なコピーをめざしたTDLは文化的翻訳はあえて避け、例外的に登場した日本の海外接触の歴史を描いた「ミート・ザ・

ワールド」は、日本人客からまったく支持されないまま、早々に廃止された。

とはいえ、イベントの演出や顧客サービスなどにおいて、TDLは確実に日本化を進めている。かつてはアメリカ独立記念日にちなんだイベントが開催されていた七月に、現在では七夕祭りや日本風の夏祭りがにぎやかに繰り広げられている。後続のパリや香港においても、アメリカの基本色を保ちつつ、現地の慣習や感性に対する適応が進んでいる。今後、アメリカ型テーマパークはさらに地球規模で広がる勢いだ。各地における均質化と異質化のダイナミクスに注目する必要があるだろう。

2013年4月15日、開園30周年を迎えた東京ディズニールランドで開かれた記念セレモニーで、シンデレラ城前の広場に勢ぞろいした人気キャラクター(写真提供・共同通信社)

「ジュラシック・パーク」と動物園文化

溝井 裕一 関西大学准教授

「あのテーマパークが、遂にオープンする。」

これは、今年公開される映画『ジュラシック・ワールド』のキャッチコピーだ。本作品は、マイクル・クライトン原作で、のちに映画化された『ジュラシック・パーク』の続編（四作目）にあたる。

「ジュラシック・パーク」は、遺伝子操作によって現代に蘇った恐竜がのし歩く、夢の動物園である。そこでは、危険な生きものを徹底的に管理するシステムが構築されている。カムフラージュされた、脱走防止用の濠や電流フェンスはそのひとつだ。一方で（パーク）には、寺院のような建物があったり、飼育区域への入り口に大きなゲートが設置されていたりする。これらは、「異界への旅」を演出するために欠かせない装置である。

動物管理と異国情緒

動物たちを管理する一方で、入場者たちが見たいと思う自然の風景を見せ、非日常の世界へ誘う。これが（パーク）のコンセプトだが、じつはそこには、一九二〇世紀の動物園で培われた、ノウ

ハウが反映されている。

例えば、異国風の建築物。映画の（パーク）の建物は、「恐竜の寺院」をイメージしてデザインされているが、実際、第二次大戦前のヨーロッパの動物園には、そのような建物が多かった。エジプト神殿風、モスク風、仏塔風の飼育舎がつくられて、動物園が見知らぬ世界へのアクセスポイントであることを演出していたのである。

巧みに隠した濠やフェンスによって、動物が野生のまま暮らしているように見せかけ、なおかつ徹底管理する方法を考えたのは、カール・ハーゲ



ケルン動物園で1899年につくられた飼育舎は、ロシア聖堂風



ハーゲンベック動物園では、遠くから見ると、肉食動物と草食動物がわけ隔てなく暮らしているように見える

ンベック（一八四四〜一九一三）という動物商だ。彼は、このテクニクをハンブルクの動物園で導入したが、のちに世界の動物園も見習うことになる。それどころか、「絶滅動物の復元」ですら、（パーク）の専売特許ではない。すでにナチス時代、ドイツの動物園では、オーロックスやターパンといった、絶滅種の復元が計画されたのみならず、実施されてもいるのだ。

自然の支配か、自然への憧れか

もともと動物園は、「人が、神に代わって動物を支配・管理する」という、西洋的な発想のもとで発展してきた施設である。だから、技巧を凝らした飼育方法が模索されてきたのだし、絶滅危惧種の再繁殖という、今日重視されている活動もその延長上にある。

しかしそこには、利益やイデオロギーにもとづいて、生きものの命をもてあそぶ危険性も隠れている。クライトンが、「自然は支配できる」という態度の行き過ぎに警鐘を鳴らすため、動物園を舞台とした物語を書いたのは、偶然ではない。

だが一方で、動物園は、自然とのつながりを想起させる場所でもありつづけた。近代西洋人は、異国風の建物の向こうに、失われゆく「野生の楽園」を見いだそうとした。『ジュラシック・パーク』には、自然を操作しようという欲望と、自然への憧れの両方が描かれているが、それは二〇二〇年間に於いて、西洋人が——そして、その影響を受けた日本人も——動物園をとおして体験してきた、ジレンマでもあるのだ。

インドのテーマパーク

小牧 幸代 高崎経済大学教授

移動型から常設型へ

一九九一年、ニューデリーのイスラーム聖者廟で祭礼調査をしていると、廟周辺に観覧車とメリーゴラウンドが数時間で組み立てられた。手際よさには心底驚いた。射的や当て物、軽食を提供する屋台も立ち並び、厳粛な宗教儀礼に商業的・娯楽的な華やかさが添えられた。

一九九五年、ウツタル・プラデーシュ州の田舎町でカースト調査を始めてまもなくのこと、空き地にすり鉢状の穴が掘られ、オートバイに乗った曲芸師が見事な技を披露した。無数の蛍光灯で照らされて昼間のように明るくなった空き地には、見



グルガーオンにあるキングダム・オブ・ドリームズの外観

世物小屋と各種の屋台、そして例の観覧車も設置された。大勢の人（と虫）が集まった。

移動型遊園施設は、しかし、危険な遊具が多いとして法律で規制され、徐々に姿を消した。代わって登場したのが、ショッピングモール併設型の遊園施設である。

一九九〇年代後半、経済発展を遂げて購買力を高めた「新中間層」をターゲットにして、買物と食事、そして映画鑑賞がオールインワンで楽しめるショッピングモールが、主要各都市でオープンした。子どもを安全に遊ばせられる遊園施設がショッピングモールに併設されたのは、ごく自然な成り行きであったろう。遊園施設が固定化すると、営業形態も年中無休に近い常設型となった。

遊園地からテーマパークへ

郊外に立地する独立型の大規模遊園施設は、一



かつてニューデリー市民に愛された移動型遊園施設・観覧車

九八四年にニューデリー、一九八九年にムンバイ、一九九一年にコルカタでいち早く開園した。これらはいずれも「普通の遊園地」だが、一九九六年にハイデラバード郊外で開園したラーモージー・フィルム・シティは、インド初のテーマパークといつてよい。豊かな自然を背景とした広大な敷地は、映画のロケ地となるエリア、各種のショーを見せるエリア、植物園、そして普通の遊園地で構成される。

二〇〇〇年代に開園した独立型大規模遊園施設の多くは「普通の遊園地」であったが、二〇一〇年代に入るとテーマパークの開園ラッシュとなる。二〇一〇年にニューデリー郊外のグルガーオンで開園したキングダム・オブ・ドリームズでは、インド各地の飲食と土産を、彼の地の典型的な建物や内装のレストランやブースで楽しみながら消費する。また、インド映画をフィーチャーした歌と踊りのステージもある。二〇一三年にショッピングモール併設型テーマパークとしてオープンしたキッズニア・ムンバイでは、インド映画「めぐり逢わせのお弁当」（二〇一三年公開）で世界的に認知された職業「ダッパワラー」（弁当配達人）も体験できる。

テーマパークの数が増えたことから、他との差別化のために、個性的なアトラクションが登場している。よい面もあるが、憂慮すべき点もある。多民族・多宗教国家であるにもかかわらず、民族と宗教の表象が一方的で、ヒンドゥー・ナシヨナリズム色の濃いアトラクションが散見されるのである。楽しいけど、複雑……そんな風に思うのは、わたしだけではないだろう。

鉱山跡の産業テーマパーク

田所 聖志 秋田大学准教授

鉱山からテーマパークへ

秋田県は、江戸時代から金銀銅を産出した地域であり、非鉄鉱山が約50カ所あった。このうち小坂鉱山、尾去沢鉱山、阿仁銅山、院内銀山には共通点がある。江戸時代に開発が始められ、明治時代に最盛期を迎えて近代産業の発展に二役買い、昭和の戦後復興を支えた後閉山した。その後、鉱山をテーマとした観光施設が作られ、現在、産業遺産として地域振興の資源となっている。

鉱山地帯の現在

小坂鉱山は、江戸時代には銀の産出地であった。銀の枯渇後、明治初頭に藤田組に払い下げられた。その後、黒鉱とよばれる鉱石の製錬法の開発によって小坂鉱山は銅山として再生し、一九〇七年に銅の産額が全国一となるまで発展した。一九九〇年の閉山後、明治時代に建てられた小坂鉱山事務所と、芝居小屋の康楽館が残された。康楽館は、今も大衆芸能が演じられる現役最古の木造芝居小屋である。二〇一四年、関連鉄道会社を利用した小坂レールパークも公開された。小

坂鉱山跡は、鉱山関連の観光施設がまとまる鉱山テーマパークをなしている。

尾去沢鉱山は、江戸時代に金銅の鉱山として知られた。明治初頭、三菱財閥に払い下げられて操業された。一九七八年の閉山後、メインランド尾去沢というレジャー施設として一九八二年に公開され、一九八九年の年間来場者数が五二万人を記録するほど盛況であった。二〇〇八年には史跡尾去沢鉱山として再オープンし、一・セキロメートルの観光坑道を中心とした産業遺産の観光地となった。

一九七八年に閉山した阿仁鉱山跡には、異人館という施設がある。阿仁鉱山は、江戸時代に銅鉱が発見され、一七二六年に銅産出量が日本一となった。明治初期に、院内銀山とともに古河財閥



煙突からつながる建物は尾去沢鉱山の銅製錬所跡(一般の立ち入りは禁止されている)



史跡尾去沢鉱山の観光坑道内に展示されている鉱石運搬のための蓄電池式機関車

に払い下げられた。異人館は、一八七九年に来日したドイツ人技師が滞在した官舎を整備した建物である。併設された博物館には阿仁鉱山の歴史資料が展示されている。

一九五四年に閉山した院内銀山跡にも、院内銀山異人館という施設がある。院内銀山は、江戸時代末期一八三〇〜四三年に銀産出量が日本一となり、明治時代の一八八九〜一九〇五年にも再び銀産出量が日本一となった。一九八九年に公開された院内銀山異人館は、ドイツ人技師が滞在した官舎を模した建物であり、博物館となっている。近隣には明治天皇が視察した坑道などが公開されている。

産業遺産を受け継ぐ

史跡尾去沢鉱山の観光坑道では、「日本の復興をなしとげるんだという気持ちで働きました」という元社員の肉声スピーカーから流れていた。どの施設でも、そこで働く地元の方々は、「この鉱山が、明治の近代化と戦後の復興を支えた」と語る。また、「以前働いていた人やその家族の方たちがお客さんに多い」と異口同音におっしゃっていた。院内銀山異人館のなかには、「院内銀山の歴史」と書かれた小学生の壁新聞が貼られている。

かつて鉱山労働を支え、そのうち県外に出た人びととその家族が今は観光客として訪れ、地元の人びとが彼らを迎え入れる。「日本の産業を支えてきた」という人びとの思いが、秋田県内陸部の鉱山跡地の産業遺産を受け継いでいく。

鬼の博物館とその背景

菅瀬 晶子 民博 研究戦略センター

根城は大江山

光あるところには陰がある。そして、人はおうおうにして、陰の部分に惹かれるものだ。類型化されたヒーローよりも、人間的魅力にあふれ、滅びの美学が約束された悪役に惹かれるという人は「ごまん」といふ。そして、そんな陰を愛してやまぬ人びとの聖地となっているのが、京都府福知山市大江町にある「日本の鬼の交流博物館」と、そ

の周囲の鬼にまつわるいくつかの場所である。

平安時代、大江山を根城として都びとを脅かした鬼の頭目酒呑童子の伝説にちなみ、平成五年にオープンした博物館は、鬼瓦職人による鬼瓦のレプリカ・コレクションをはじめとして、世界各地の鬼の民具コレクションを有するほか、世界鬼学会を主催し、研究活動もおこなっている。また、博物館からほど近い山中には、彫刻家の成田亨による酒呑童子とその手下たちをかたどった鬼のミニチュメントが立つ。「太陽の塔」の内部にある生命の樹のデザインを手がけた成田は、ウルトラマンのデザインの生みの親でありながら、その著作権をめぐって円谷プロと争うことになったという経歴を持つ。今も京の方角をにらむ鬼たちの形相からは、陰に甘んじた者の無念がうかがえる。ほかにも郷土銘菓として鬼饅頭が売られていたり、鬼のオブジェがあちこちに置かれていたり、鬼

マニアの心をくすぐるテーマパークとなっている。

ふたつの鬼伝説

しかしながら、大江で鬼が注目されはじめたのは、ほんの二五年ほど前のことであるという。隣接した三岳山山麓の御勝八幡神社には、鬼を退治した源頼光が戦勝祈願をしたという伝承が残り、それにちなんだ祭もあるのだが、鬼についてはなんの伝承も祭もなかったという。ところが昭和末期に突如として、地方行政の主導で「大江山酒呑童子まつり」がおこなわれるようになり、現在に至る。鬼が観光の目玉として扱われるようになった背景には、この地域にあった鉱山が、昭和四四年に閉山されたことが挙げられる。地場産業を失った地域の活性化のために、鬼たちは忘却の彼方から引張り出されたのだ。

じつは「おおえやま」という地名は、京都府内に二カ所ある。ひとつはこの大江山連峰であるが、もう一カ所は西京区と亀岡市の境界にある大枝山であり、酒呑童子がいたのは後者だともいわれている。実際ここには酒呑童子の首を祀ったとされる、「首塚大明神」が鎮座しているのだ。大江で鬼伝説が廃れていたのも、無理はない。

町の中心から博物館に向かう道すがら、いくつもの鬼のオブジェに遭遇したが、周囲の田園風景とはなじんでいない。「いきなり引張り出されて、こっちも迷惑してんだぜ」とでも言いたげなその姿には、哀切さすら漂う。そんな様子も、ある種のマニアをひきつけるのかもしれない。



成田亨による鬼のミニチュメント。京の方角を指さし、にらんでいる



日本の鬼の交流博物館。鬼の顔を模している。かたわらには、全国各地の土と焼成技法で製作した130のパーツを組みあげた「平成の大鬼」がたずむ



博物館の内部。巨巻の鬼コレクション



イギリス

ヴィクトリア期の女性が暖炉の火から顔を守るために使った一對のうちわの片方。Face screenともよばれ、中央には花鳥模様の刺しゅうが施されている。
H53 x W35.5 x D0.8
H0067335



ウズベキスタン

二重仕立ての木綿製うちわ。表は多色の緋(かすり)で、黒い布でパイピングされている。火鉢の火をおこしたり肉を焼いたりするときに使われる。
H36.3 x W27 x D2.2
H0168405



マーシャル諸島

バンドナスの葉とオオハマボウの繊維を編んで作られたうちわ。円形のうちわはマーシャル諸島に特徴的で、細かい模様が織り込まれている。
H31.2 x W22.4 x D2.2
H0149440



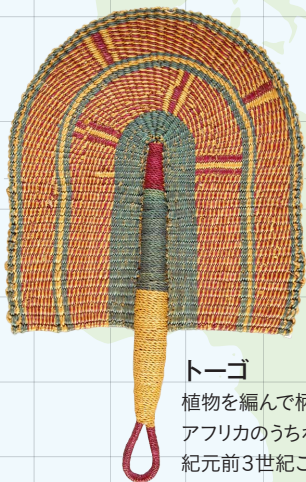
日本

歌舞伎の小道具で雨うちわとよばれる。これを振ると、縫い付けられている大豆やビーズが渋紙に当たって雨音の効果音を出す。
H40.6 x W36.7 x D0.6
H0009561



タイ

竹を裂いたものを編んで柄をつけた円形の大型うちわ。米を脱穀する際に、ほこりやもみ殻を吹き飛ばすために使われる。東南アジア展示場で公開中。
H80 x W39 x D3
H0125843



トーゴ

植物を編んで柄をつけたうちわ。アフリカのうちわの歴史は古く、紀元前3世紀ごろのエジプトで見つかった棺(ひつぎ)にも描かれている。
H39.7 x W25.7 x D2.3
H0201740



アメリカ合衆国

北アメリカ大平原領域でおこなわれたベヨテ儀礼で使われたうちわ。ワシの羽根を筒状のビーズのなかに差し込み、革でひとつにまとめたもので、皮の組ひもがついている。
H42 x W15 x D11
H0075218



メキシコ

ヤシ科植物の葉を利用して編んだ華やかな感じのするうちわ。暑いときにこれでおおぐほか、火をおこすときなどにも使用する。
H35 x W22 x D0.8
H0192207



インド

インド西部のグジャラート州で使われた布製うちわ。結婚式で花婿をおおぐのに用いられたもので、絹糸を使ったクロスステッチ刺しゅうが施されている。片手でくるくる回して使う。
H28.1 x W38.4 x D2.1
H0238200

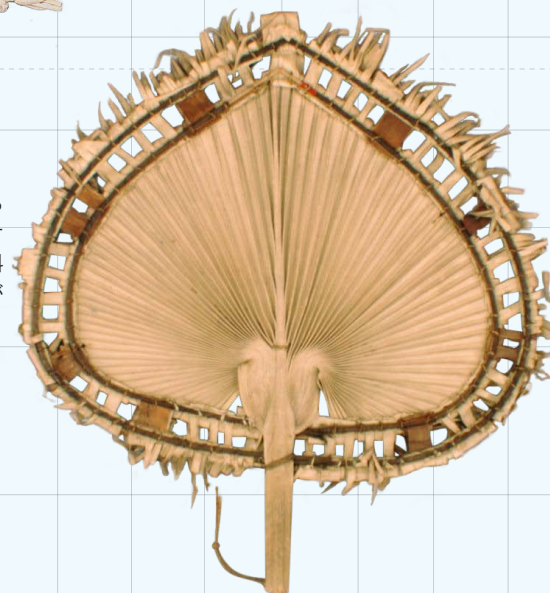


インドネシア

水牛皮を骨組みに貼り付けたうちわ。中央にはワヤン(影絵)に使われるラーマヤナの主人公、ラーマ王子像が描かれている。
H28.4 x W19 x D1.1
H0149443

フィジー

戦時に首長であることを誇示するために使われた大型のうちわ。オセアニアで広く使われたタコノキ科の葉ではなく、ヤシ科植物の葉が使われている。
H60.4 x W54.2 x D2.4
H0136368



集めてみました世界の



いんとう みちこ
印東 道子 民博 民族社会研究部

うちわは、緯度の低い暑い地域に多く分布している。そのほとんどは人間をおおぐために使われるが、それ以外にも火をおこすときに使われるものや、女性が暖炉の火で顔が赤くなるのを防ぐためのものもある。変わったものでは、風を送る機能をもたない特殊なうちわもある。歌舞伎の小道具と聞けば納得されるだろうか。扇子のように折たためないが、柄の部分をもデザインの一部に取り込んだしゃれなうちわを紹介する。

※寸法の単位はセンチメートルです。

特別展
「韓日食博——わかちあい、おもてなしのかたち」

五感で味わう韓国と日本の「食」文化。体感で感じる新しい「食」の展示会です。両国の食文化がユニークな無形文化遺産に登録されるなど「食」に関する文化的な関心が高まるなか、日韓国交正常化50周年を記念して、韓国国立民俗博物館と共同で開催します。

会期 8月27日(木)～11月10日(火)
会場 特別展示館

◆関連イベント

◆ワークショップ
「香り体験「マイセ味づくり」」
日時 9月5日(土)、26日(土)、10月3日(土)
13時～14時、14時30分～15時30分
会場 特別展示館地下(各回定員100名)
協力 エスシー食品株式会社
※申込不要、要展示観覧券、先着順
味わう体験「韓国の汁文化と発酵調味料」
日時 9月6日(日)、27日(日)、10月4日(日)
15時～16時
会場 職員食堂(定員36名)
司会 福留奈美(フードコーディネーター・お茶の水女子大学専門食育士(上級))
※要事前申込、参加費500円、先着順、対象は高校生以上

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第447回 8月15日(土)
オセアニアの戦争の文化
講師 丹羽典生(本館准教授)



フィジーの槍の踊り
平和な島国としての太平洋というイメージはいまでもありますが、かつては激しい武力衝突がおこなわれ、戦争にまつわる文化が存在していました。そうしたオセアニアの戦争文化と現在の影響についてお話しします。

みんなくワークショップ・サロンの研究者(話者)

時間 14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」調査している地域(国)の最新情報「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。
8月9日(日) 本館ナビひろば及び展示場
温故知新—ネパールの1982年と2013年の映像から話者 南真木人(本館准教授)
8月16日(日) 本館オセアニア展示場
南太平洋のハカ(民族舞踏)の広がり話者 丹羽典生(本館准教授)
8月23日(日) 本館ナビひろば及び展示場
みんなくで世界一周！
—世界のいきものたちに会いに行こう話者 池谷和信(本館教授)
8月30日(日) 特別展示館(要特別展示観覧券)
日本の焼肉文化考話者 朝倉敏夫(本館教授)

食のオノマトペとカリグラフィー
日時 9月20日(日)13時～15時
(受付12時30分)
会場 本館エントランスホール(定員10名)
※要事前申込、参加費500円、先着順、対象は小学5年生から大人まで

◆関連イベント

「はじめての一步 やってみようミラー刺繍」
日時 6月～8月の毎週木曜・土曜
13時30分～16時30分(16時まで受付)
会場 本館エントランスホール
プログラム
①ミラー刺繍のしくみ(参加無料)
②スパンコールをつけてみよう(参加費50円)
※申込不要、小学生から大人まで(小学3年生以下は保護者同伴のこと) 刺繍初心者向け

◆みんなく映画会

インド映画特集
現代インドを表現する各言語によるインド映画を、インド研究者による解説付きで上映します。
「Mr.&Mrs.アイヤル」
8月2日(日)13時30分～16時30分(開場13時)
「DDLJ—勇者は花嫁を奪つ」
8月8日(土)13時～16時30分開場12時30分
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券、先着順(整理券は配付しませんので、ご注意ください)
※西日南アジア展示場にてミニレクチャーあり、2日は11時30分から、8日は11時から。

◆展示場クイズ

「みんなQ」南アジア編
8月25日(火)まで南アジア展示場にて開催中
みんなく秋の遠足・校外学習事前見学&ガイドランス
秋の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館

される学校団体の先生方を対象としたガイドランスを開催します。
日時 8月21日(金)、24日(月)14時～16時30分
会場 本館第5セミナー室ほか
※要事前申込、参加無料

台湾光点計画講座

「日本の客家」
日本の客家が自身の歴史と現在を紹介いたします。
日時 9月6日(日)13時30分～16時45分
会場 本館第5セミナー室(定員90名)
※申込不要、参加無料、先着順

みんなくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
日時 8月8日(土)、8月22日(土)
12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

カレッシシアター

「地球探究紀行」
みんなくの研究が驚きと感動をお届けします。世界の文化の奥深くへ一緒にどうぞ。
時間 13時～14時30分

ビデオテーク新番組(8月順次公開予定)		
番組番号	タイトル	時間
1723	祝いの音 戦いの記憶：フィリピン・ソル島山地民の結婚式(英語版・イロカノ語版あり)	27分
1724	ミャオ族の聖歌隊：中国雲南省富民県西山教会献堂式	20分
1725	リス語の讃美歌：中国雲南省怒江リス族自治州の教会	19分
1726	回族の婚礼：中国雲南省大理	33分
1727	ネパール 都市の結婚式	28分
1728	ネパール 山村の結婚式	28分
1729	ネパールの金細工	19分
1730	カトマンドゥ盆地の30年	26分
1731	金属加工技術 彫金と鍛金 1：金槌の種類	8分
1732	金属加工技術 彫金と鍛金 2：器をつくる	13分
1733	金属加工技術 彫金と鍛金 3：指輪をつくる	15分
1734	金属加工技術 彫金と鍛金 4：タガネをつくる	12分
1735	金属加工技術 彫金と鍛金 5：ペンダント	8分
1736	金属加工技術 彫金と鍛金 6：タガネの種類	19分
1737	金属加工技術 彫金と鍛金 7：糸鋸	9分
1738	金属加工技術 彫金と鍛金 8：キサゲ	6分
1739	金属加工技術 彫金と鍛金 9：地金を丸くする	5分
2813	江原道のソバ料理(韓国語版あり)	11分
2814	自動車告祀：交通安全を願う韓国人(韓国語版あり)	15分
2815	2014 韓国の初誕生祝い(韓国語版あり)	14分
7226	トゥバ人たちの住むところ	83分
7227	Guitars of Puerto Rico	67分
7228	Guitars of Portugal	46分
6053	神への祈りと喜びの舞曲：パッサからバルトークへ	—
6055	映像で見るマンダラ	—

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円
共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
8月26日(水)
タイ・ラオスの仏教寺院—その伝統と文化
講師 平井京之介(本館教授)
お申込み・お問い合わせ先
ウエーブ産経カレッシシアター係
06・66333・9087

●夏休み観覧無料キャンペーン
夏の観覧無料キャンペーンを8月1日(土)から8月25日(火)まで実施します。対象は高校生以下と65歳以上の方です。

巡回展「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」
会期 8月23日(日)まで
休館日 毎週月曜日
会場 郡山市立美術館(福島県)
主催 郡山市立美術館、国立民族学博物館、千里文化財団

●中央北アジア、アイヌの文化展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、中央・北アジア、アイヌの文化展示場が11月18日(水)から3月16日(水)まで閉鎖されます。閉鎖前には是非ご来館ください。

●ネパール大地震の情報ポータルサイト
人間文化研究機構の現代インド地域研究国立民族学博物館拠点では、4月25日に発生したネパール大地震関連の情報を集積したポータルサイトを立ち上げました。
URL http://www.ninpaku.ac.jp/nihu/nindas/nepal_earthquake2015_j.html
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円
第446回 9月5日(土)14時～16時
日韓の汁文化と発酵食品
講師 福留奈美(フードコーディネーター・お茶の水女子大学専門食育士(上級))

日本と韓国には、共通する食材が多くあります。食事はそれぞれ「飯・汁・漬物」「パブ・クク・キムチ」を基本とし、ごはんは合うおかずとの組合せで献立が構成される点も似ています。しかし、食材の組合せや発酵調味料の使い方、盛り付け方や食べ方の違いなど、異なる点もたくさんあります。何が同じで何が違うのでしょうか。日韓食文化の類似点と相違点について、両国の汁物、漬物、発酵調味料に着目して紹介いたします。
●講義と併せ、発酵調味料等の味わい体験を含むワークショップをおこないます。

第447回 10月3日(土)14時～16時
「医食同源」の思想—中国の食と漢方
講師 池谷幸信(立命館大学特任教授)

東京講演会

会場 JICA地球ひろば セミナールーム600
定員 60名(要事前申込、会員無料、一般500円)
第113回 8月23日(日)14時～16時
食の歳時記—ベトナム、黒タイの村から
講師 榎永真佐夫(本館准教授)
山がちな西北ベトナムには、地形や高低に応じてさまざまな民族が住み分けて暮らしています。盆地で水田をつくっている黒タイは、モチ米が主食です。彼らの食卓は、季節の移り変わりに応じ、素材の特性を活かしたさまざまな旬の食材で豊かに彩られます。講演会では黒タイの食を歳時記風にとりあげ、そこからモノ、習慣、信仰、近隣の民族との関わりなど、彼らの生活の実相に迫ります。
●講義と併せ、懇談会をおこないます。

友の会入会キャンペーン開催中!

期間：8月25日(火)まで
新規ご入会者には記念品(ポストカードブック「南アジアの布」)をプレゼントします。

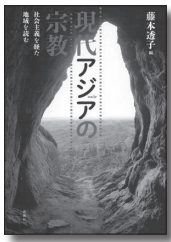
刊行物紹介

■三尾純、杉本良男 共編著
『現代インド6
環流する文化と宗教』
東京大学出版会 5,400円(税抜)



欧米などを中心とするグローバル化とは一線を画し、独自のグローバルなうねりを起こして変容を遂げるインドの社会、文化、宗教の動態を「環流」という新しい概念のもとに捉え、人類学的観点から記述・分析した論文集。

■藤本透子 編著
『現代アジアの宗教
—社会主義を経た地域を読む』
春風社 4,200円(税抜)



社会主義を経験した地域で宗教がもつ意味とは? 中央アジアのイスラーム、モンゴルのシャマニズム、チベットのボン教、中国西南部から東南アジアの上座仏教をとりあげて、宗教と社会の関係を再考する。

味の根っこ



ドミニカの炊きこみごはん

ロ・クリオ

窪田 暁 奈良県立大学専任講師



豚バラ肉を使ったロ・クリオ

おなじ鍋の飯を食らう

阪神タイガースのマウロ・ゴメス選手の家を訪ねたときのことである。ゴメス選手が暮らす神戸のマンションには、妻と娘に加えて、ドミニカ共和国（以下、ドミニカ）から呼びよせた弟や妻の妹、幼なじみがいた。全員がそろったこの日の夕食は、大鍋で炊かれたロ・クリオであった。

ドミニカは多くの移民を海外に送り出す国として知られている。現在、人口約一〇〇万人のうち、二五〇万人がアメリカ東海岸の都市に暮らしているが、ドミニカ人の男性が単身で渡米した場合、まず身をよせるのが親類や友人の家である。仕事も見つかり、新しい生活に慣れてくると、アパートの一室を借りて一人暮らしをはじめると、ただし、夕食だけは元の居候先へとよばれに行く。「一人でつくって、一人で食べる」ことなど想像もつかないからだ。とはいえ、いつまでも毎晩のようにご馳走になるわけにはいかない。はやくロ・クリオをつくってくれる女性を見つめるか、でなければドミニカ・レストランのお世話になるか、である。ゴメス選手に限らず、海外で暮らすドミニカ移民にとってロ・クリオは特別な存在といえそうだ。

ドミニカ人の主食は炊きこみごはんである。コメとグアンドウレ（キマメ）を一緒に炊きこんだものはモロとよばれ、鶏肉や豚肉と一緒に炊きこんだものをロ・クリオとよぶ。朝食はパンやジャニケケ（小麦粉を水で溶いて揚げた

鍋で大量につくるほどおいしくなる点で共通しているが、そのためには、大量につくっても余さずに平らげるだけの人数が食卓にいないければならない。ドミニカ人にとってのロ・クリオは、大鍋で大量につくったものを大人数で囲んで食べるものなのである。

歴史がしみこんだ味

一四九二年にコロンブスによって「発見」されてから、ドミニカは変化を余儀なくされた。先住民のタイノはスペイン人がもち込んだ疫病や強制労働が原因で絶滅に追い込まれる。その後、西アフリカから連れてこられた黒人奴隷とスペイン人との混血がすすみ、現在では人口の



アメリカのドミニカ・レストランで注文する



大鍋でロ・クリオをつくる母親

八割近くを占めるまでになっている。彼らのように、スペイン人と現地の人びと（アフリカ系や先住民）のあいだに生まれた人びとはクリオージョとよばれ、肌の色も多様である。彼らの言いかたに従うなら、「ブランコ（白）」、「カフェオレ（茶）」、「ネグロ（黒）」となる。当然ながら、これらのあいだに明瞭な区切りがあるわけではなく、グラデーションのようにあいまいだ。こうした背景から、現在のドミニカでは異なる三つのルーツが混ざりあったクリオージョⅡ「ドミニカ人」という国民意識が共有されるようになったのである。

ひとつの大鍋でいろんな食材が炊きこまれる料理が、ロ・クリオ（ロス・クリオージョ）という名でよばれるのは決して偶然ではないだろう。ドミニカ人は、アメリカの東海岸で、日本の神戸で、本国のパティオで、ただロ・クリオを食べているのではない。彼は、母親の汗、ドミニカの歴史、家族や友人との絆が、口のなかで混じりあうのを噛みしめているのだ。大鍋にこびりついたおこげが混じるときには、かすかな苦味を感じながら……。



川に泳ぎに行くときにもロ・クリオは欠かせない

もの、夕食はバナナやユカ（キャッサバ）を茹でたもので済ますドミニカ人にとって、肉とコメが中心の昼食が待ち遠しい。昼どきになると、隣家の主婦がパティオ（裏庭）で火にかけて大鍋に鶏肉やコメを放り込む姿を見かける。楽しみにされているのがわかるので、母親たちも気合いが入る。別の場所に暮らす子どもがふらりとやってくるのにそなえて、人数分よりは多めにつくっておく。そうすれば、急な来客（昼の時間を狙って来る人も多い）にも対応できるし、家事を手伝ってくれる姪や隣人にも顔がたつ。母親がつくる昼食によって親子、親類、隣人同士がつながる。モロもロ・クリオも大きな

ロ・クリオ (6~8人分)

米	6合
鶏の骨付きもも肉	人数分
サラダ油	多め
ニンニク	3かけ
タマネギ	3個
パプリカ (赤)	3個
オリーブの実	8個
水	1,300cc 程度
塩、コショウ、コリアンダー	適量
コンソメの素	2個
レモンの絞り汁 (肉の下味用)	

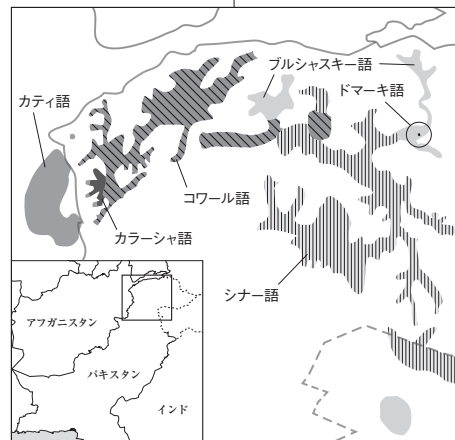
- ① 鶏肉はそのまま（豚バラを使う場合は一口大に切る）、野菜類も食べやすい大きさに切って、レモン汁、コリアンダー、塩、コショウで下味をつけておく。
 - ② 鉄鍋にたっぷりめのサラダ油をいれて、煙がでるまで熱する。ニンニクを香りがでるまで炒めたら肉を投入し、焦げ目がついたところに野菜をいれる。
 - ③ 野菜に火がとおったら、水と米を加え、コンソメの素をいれたら、落とし蓋をして水分がなくなるまで炊く。
 - ④ 香ばしい匂いがしてきたら完成。
- * 鶏の骨付きもも肉の代わりに、豚バラブロック1本、またはサラミソーセージでもよい。
* 鶏レバーなど好みで加えてもよい。

危機言語を救わない

よしおかのぼる
吉岡 乾

民博 民族社会研究部

口頭伝承は無形文化遺産の典型であるから、それを担う言語は無形文化遺産を構成するといってもおかしくない。しかし、無形文化遺産の価値づけを担い手に委ねているユネスコでは、担い手自身が関心を示さない言語の継承を強制できない。



ユネスコの太鼓判

ユネスコが危機言語として指定している言語は、約二五〇〇言語ある。その危機言語リスト(二〇一〇年)では、パキスタン国内の危機言語は二八。そのなかには、わたしがこれまでに調査した言語が五つある。「脆弱」レベルのプルシャスキー語とコワール語、「危険」のカティ語、そして「重大な危険」のカラシャ語とドマーキ語が該当している。



プルシャスキー語を話すドマ人の子どもたち

よって危機だと認定されていることをわたしは、今調べてみて

初めて知ったのだが、では知ってすぐに「なるほど」と納得したのかといえは、そんなこともない。ドマーキ語は確かに、かなり危機的であることが、現地調査中にも実感された。中年層でも流暢に話せる話者は限られており、若年層にもなると、単語やフレーズは知っていても話すことは難しい。流暢な話者は一〇〇人未満。次世代への継承はほとんど途絶えていて、放っておけば数十年で消滅するのは明白である。一方、カラシャ

語は、わたしの行った谷では子どもたちもよく喋っていた。プルシャスキー語やコワール語に至っては、話者も一〇万人以上は優に居るし、日常生活で第一言語として使用している。何ををもって「脆弱」としているのだろうか。

高まり始めた言語意識

いわゆる少数言語のなかには、話者が自分たちの言語に対しての意識を高めて来ているものもある。例えば、プルシャスキー

語や、上には拳がっていないが、コワール語と似た状況であると感じられるシナー語などは、言語意識が近年になって向上している気配がある。私設とはいえないブルシャスキー語研究アカデミーや、シナー言語文化振興会といった組織が生まれて来ているところからもわかる。

これらの組織はそれぞれが、無文字言語であった各言語に文字をあらたに制定し、書籍を出

版して普及しようと試みている。それらの文字は、体系的や利便性といった面で、決して良い出来だとはいえないが、そういった動きが内から出て来ていることは注目すべきだ。但しこれが、「危機言語」だから起きている運動かといえは、必ずしもそうだとは思えない。言語地位の向上、文芸の発展への願望は、言語の大小にかかわらず起こるものであり、これらの言語の話者のなかに裕福な、学問的見識を広げられる環境にある者がそれなりに居るからこそ起こったのだとも思える。

言語の取捨選択

何故こういった動きが、危機感から生じていると判ぜられないか。その疑問への答えのひとつが、ドマーキ語の状況にある。ドマーキ語は、わたしの研究している言語のなかではもっとも危機的な言語である。けれども、ドマーキ語話者である当人



ドマ人同士でもドマーキ語はほとんど出て来ない

らは、言語保存などとは一言も言わない。自分たちの言語が消滅しかかっているという意識は強く共有してはいるが、残そうという動きは見受けられない。むしろ、わたしが彼らの村を訪れた当初、彼らはドマーキ語の存在そのものを隠していた。彼ら自身はその隠蔽工作の理由を語ろうとはしないが、周辺の村の人たちの様子から推し量るに、「ドマーキ語を話すこと」が、毎歳の対象であることが一因となっているであろう。ドマーキ語話者集団であるドマ人は、自他ともに、周囲の民族よりも下位であると考えられている。だから、ドマ人であることを示してしまおうドマーキ語の使用は、嘲笑の対象になる。その言語を習得しても、極めて限られた相手としか交流ができず、バカにされる理由にもなるというのであれば、彼らがドマーキ語を捨て去ろうとするのも当然だろう。

語保護とか、救済とかに思考が向かってしまおう研究者は多い。けれども、敢えて捨てることを選択しているようなドマ人を見ていると、そんなのは研究者のエゴに過ぎなく思える。今、研究者としてのわたしがすべきことは、躍起になって言語を救おうとすることではなく、彼らが言語を残したいと願ったときに、それをかなえられるだけの言語データを記録しておくことだ。



プルシャスキー語対訳クラーン

シンガポールに インド芸能を広めた男

偶然の出会いにより、その後の人生が決まってしまうこともある。
オーストラリアへ渡ろうとしていたインド人舞踊家は、その途上のシンガ
ポールの地で、インド芸能の振興と伝承に、生涯をささげた。



セイロン・タミル協会にてインド舞踊を教えるバスカー（1954年、シンガポール）
© Bhaskar's Arts Academy

二〇三年四月、インド系シンガポール人の男性舞踊家K・P・バスカーが八七歳の生涯を終えた。彼の訃報は、シンガポールで発行されているインド系のタミル語新聞はもとより、国内最大の日刊英字紙ザ・ストレイツ・タイムズや中国系の新聞でも報じられ、彼の逝去を惜しむ声とともに、インド古典舞踊のパイオニアとして彼の功績を称えることばが綴られていた。インド系というマイノリティとして生きた彼の人生は、シンガポールにおけるインド芸能の発展と深くかかわっている。

偶然に立ち寄った場所

バスカーのライフヒストリーは、近代インドにおける芸能者の社会的流動性を考えるうえで示唆に富んでいる。一九三五年、インド・ケララ州南部の高カーストの家系に生まれた彼は、幼少より音楽や舞踊に興味を抱き、地元の芸能に慣れ親しんでいた。青年期になると、大学進学を望む家族を押し切つて、トラヴァンコール王宮が運営する舞踊学校に入学し、そこで古典舞踊のカタカリやオットタン・トゥツラルなどの芸能を習得する。

卒業後は、植民地行政官らが集うバンガロールの社交界の場でポールルームダンスの踊り手として活躍したり、マドラスの映画スタジオでウダイ・シャンカル（シタール奏者のラヴィ・シャンカルの兄）主演の映画『カルバナ』（一九四七年）にダンサーとして出演したり、スタジオ付きの振付師としてダンス・シーンの演出を手がけたりしていた。
そんななか、左翼勢力が台頭していた戦前のセイロン（現スリランカ）で、英印軍の慰安公演に出演した際に出会ったオーストラリアの共産党一団からの誘いをうけ、一九五二年、彼は新天地を求めてオーストラリアの船に乗り込んだ。その航海途中にたまたま寄港したが、その後の生涯の住処となるシンガポールであった。

「文化の砂漠」から

「芸術のグローバル都市」へ

シンガポールはいわずと知れた多民族、多文化社会の国である。人口は、七割以上を

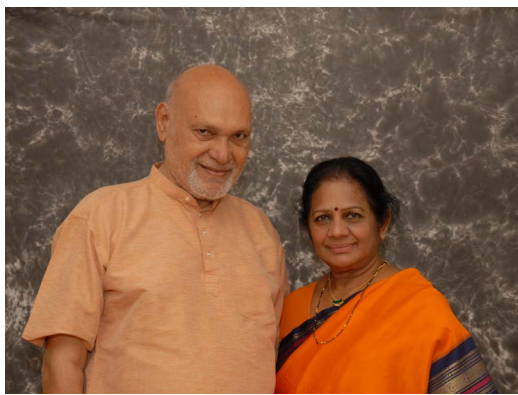


シヴァ神のポーズをとるバスカー（1951年、セイロン） © Bhaskar's Arts Academy

占める中国系他に、マレー系やインド系によって構成され、人びとは異なる言語、宗教、生活習慣をもって暮らしている。天然資源のない狭小な国土と限られた人的資源という制約のなかで、マレーシアから独立したシンガポールは、経済発展を国是とした開発政策を推進し、現在では国民一人あたりのGDPが世界のトップ一〇に入るほど豊かな国に発展した。その一方で、独自の文化形成の余地がなく、「文化の砂漠」といわれ続けてきたこの国は、経済発展を遂げた一九九〇年代以降から「創造都市」を標榜し、芸術文化に重点を置く政策も進めるようになった。

インド芸能の伝承

バスカーがシンガポールに降り立った当初、インド系移民は人口の約一割を占めていたが、インド芸能を教授する機関はひとつもなかった。当てにしていたオーストラリアの共産党一団からの音信が途絶えたことと知人らの説得が契機となり、彼はシンガポールでインド芸能を教えることを決心し、一九五三年にバスカーズ・アカデミーを設立した。以来、彼は亡くなるまでの日々をインド系移民だけでなく、多くの人びとにインドの音楽・舞踊文化を伝えることに力を注いだ。また、一九八八年に組織された文化芸術諮問会議には主要メンバーとして加わり、中国系、マレー系、インド系のコミュニティに伝わる伝統的な芸



晩年のK.P.バスカーと妻のサンタパ・バスカー（2001年、シンガポール）
© Bhaskar's Arts Academy

術文化の発展に対して、国が積極的に支援するよう意見陳述した。それは、教育・資金・インフラの点において、今日の芸術文化政策の核となるものでもあった。インド出身の名もなき踊り手は、偶然に立ち寄ったシンガポールという地で、インドの音楽・舞踊文化の普及に大きな功績を残したのである。
バスカーが他界した二年後の二〇一五年四月、シンガポールのインド人街にはインディア・アン・ヘリテージ・センターがオープンした。同センターは、インド系移民の歴史や文化を展示するとともに、インド芸能の調査研究と伝承や発展に力を注ぐことを掲げている。六〇年にわたってインド芸能の普及に奮闘したバスカーの意思は、次世代に、そしてシンガポールの国にしっかりと継承されている。

社会関係資本のもつとも喧伝^{けんでん}された定義は、ハーバード大学の政治学者ロバート・帕特ナムによる「協調的行動を容易にすることにより社会の効率を改善しうる信頼・規範・ネットワークなどの社会的しくみの特徴」である。信頼も規範もネットワークも、それぞれ何冊の本が書かれる膨大な蓄積があるものを三つひとくくりにしてしまったとんでもない概念であり、胡散臭^{うさんくさい}いと怒り出す学者も存在する。彼らの怒りもつともではあるが、この三つをまとめると、それなりの付加価値が生まれるのだ。

第一に、ミクロの個人の世界を、コミュニティや社会全般と結びつけるミクロ・マクロ・リンクの視点を提供してくれることである。簡単にいうと、社会関係資本の観点があると、人びとの世界が広がっていくありさまを、肥満や禁煙の伝播^{えんぱ} (spread) などテーマごとに段階的にとらえることができる。筆者はここ数年、岸和田のだんじり祭を見物しているが、だんじりで培われたネットワークはミクロ・マクロ・リンクを体現している。だんじりの町内会内だけでなく、だんじりをもつ他の町内会とのつきあい、各町内のだんじり組織の長である年番とその連合会との関係、だんじりを実行するための岸和田市内の他のさまざま組織との関係など、個人レベルのネットワークが町内を超えた外の世界へ次々と広がりを見せる。

第二に、これは東洋大学の今村肇^{いまむらたけ}先生も指摘されていた点だが、コミュニティレベルの社会関係資本は、地域の歴史的・文化的経緯、つまり時間軸も含んだ状態を表現できることである。これはコミュニティの特性を把握する際に有効である。社会関係資本

社会関係資本

Social Capital

稲葉陽^{いなば しょうじ} 日本大学教授

しがらみを
生き抜く

人間学の
キーワード

を単純に「絆^{きずな}」といってしまうと、「絆」のありかたはコミュニティの歴史的・文化的経緯を反映してまちまちである。今地方創生がいわれているが、社会関係資本は地方創生のための地域診断手法も提供できる。

第三に、時間軸を含んでいるために、単純なネットワーク論よりずっと深い議論ができる。何人かの社会資源論者は一夜で社会関係資本論者へ看板を架け替えたと揶揄^やされるが、社会関係資本という概念を導入したために、ずっと深みのある議論を展開できるようになった。例えば、ネットワーク自体を資源としてとらえていた社会ネットワーク研究者であるナン・リンの社会関係資本論は『資本論』から説き起こしているが、これはネットワーク論だけでは無理があつたように思う。

第四に、社会関係資本の概念は適用範囲が広く、さまざまな分野の人びとが語ることができ、学際的、職際の議論を可能にする。例えば筆者は、社会関係資本の健康への重要性を医学の分野で指摘しているハーバード大学公衆衛生大学院のイチロー・カワチ教授の夏期集中講座を聴講する機会に恵まれたが、純然たる文化系の筆者でも授業内容のほぼすべてを理解できた。つまり、社会関係資本は問題意識を共有できれば、専門が異なってもかなりの意志疎通ができる貴重な概念である。

ただし、社会関係資本は悪い面もある。「絆」はときに「しがらみ」でもあり、負の効果もあるのだ。見方を変えようと、社会関係資本の負の部分をもどくように抑制するかが政策課題である。



編集後記

郡山市立美術館での巡回展「イメージの力」の展示作業立ち会いのため、福島に飛んだ。飛行場では、ウルトラ・ファミリーが待っていた！ウルトラマンの生みの親、^{つがやえいじ}円谷英二が空港に近い福島県須賀川市出身ということで、福島空港はウルトラ・テーマパークと化している。立像やら撮影用のプロップや模型やらが空港のあちこちに展示してあり、ハンドルを回して発電するとウルトラマンが「シュワッチ」とバルタン星人にスペシウム光線を浴びせるといふ参加型の仕掛けまである。初代ウルトラマンが宇宙の果てから地球にやってきた年に生まれた人間としては、この掛け声を聞くと、出張で来たことも一瞬忘れて、心ときめいてしまうのである。「シュワッチ」でスイッチが入り、子どものころのワクワク感が一気に^{よみがえ}蘇る。ノスタルジアは、大人がテーマパークで味わう高揚感の根源にある重要な心的要素のひとつなのかもしれない。

だがウルトラマンタロウ以降の「兄弟」は、もう誰が誰だかわからなくなるので、空港の正面に立つ高さ4メートルの巨像が「ウルトラマンマックス」であることは、後でネットで調べないとわからなかった。
(山中由里子)

●表紙：玩具（観覧車） 標本番号 H0156065 ほか 地域：メキシコ 民族：メスティン

次号の予告

特集
韓日食博

みんなぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引に比べ、『月刊みんなぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんなぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんなぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんなぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

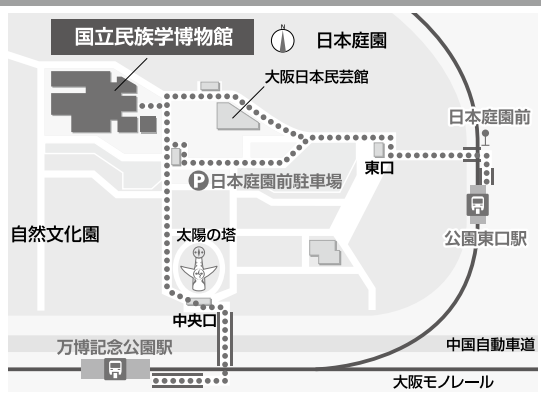
月刊みんなぱく 2015年8月号

第39巻第8号通巻第455号 2015年8月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子（編集長） 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾
デザイン 宮谷一孝 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>